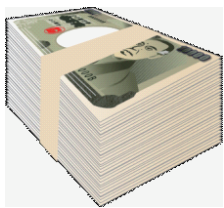


知っていますか？ごみ処理経費

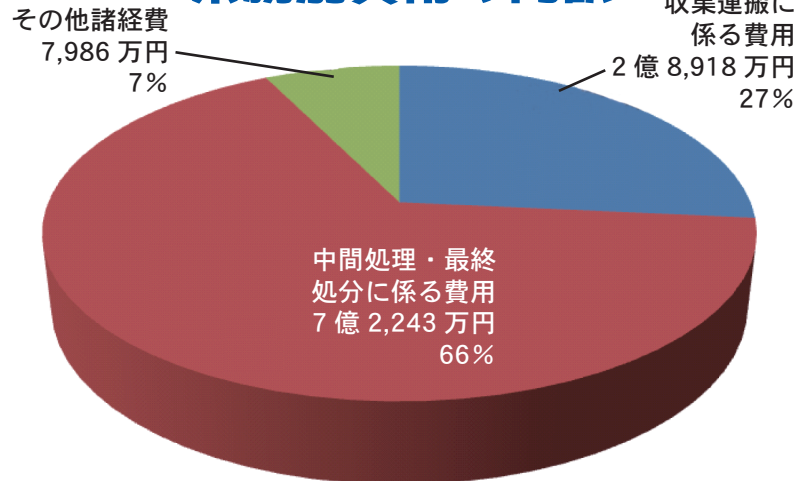
～市民1人当り 9764円～

ごみを処理したり、資源物をリサイクルするためにはお金がかかります。平成23年度にごみ処理に使われたお金は、約10億9千万円で、市民1人当たりの処理費用は9,764円、ごみ1トン当たりの処理費用は25,563円です。

平成23年度
1年間で
10億9,148万円



業務別費用の内訳



主な経費は？

●収集運搬に係る費用

- ☆燃えるごみや資源ごみ等を清掃センターに運ぶための費用
- ☆資源古紙を収集するための費用

※()は市民1人当たり
約1億6,900万円 (1,512円)
約4,200万円 (375円)

●中間処理・最終処分に係る費用

- ☆焼却施設の運転管理をするための費用
- ☆焼却灰を県外に外部搬出して埋め立ててもらうための費用
- ☆施設を修繕するために要した費用
- ☆光熱水費 (主に焼却処理施設の電気料)

約9,500万円 (850円)
約7,600万円 (680円)
約1億9,700万円 (1,762円)
約1億500万円 (942円)

ごみを減らせば…

- 収集運搬する重量が減り、車両の燃料費を節約できます。
- ごみ減量＝焼却灰減量となり、最終処分場の延命化及び費用の削減につながります。
- 現在、焼却炉を2炉(90トン×2炉)24時間稼働(月～土)させないと、ごみ処理が追いつかない状況ですが、ごみ減量が大幅に進めば、焼却処理に余裕が生まれ、電気代等を節約することができます。

どうやってごみを減らせば…

ポイントは2つ

「生ごみの減量」と
「ミックス古紙の分別」

詳しい減量のポイントは、次号でお知らせします。



ミックス古紙ってどうやってリサイクルしているの？

～集められたミックス古紙のゆくえ～



① 集積所に集められる



② 業者が回収します



③ そのまま沼津の工場へ



④ 工場のストックヤードへ



⑤ 機械で水と薬品と混ぜられドロドロになります



⑥ 製品として出荷

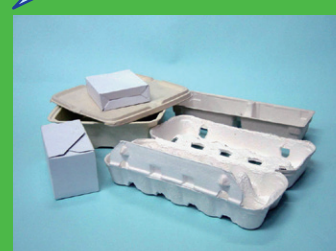
個人情報も
消えちゃうから
OKだね!!



ミックス古紙は
こんなものに生まれ
変わります。



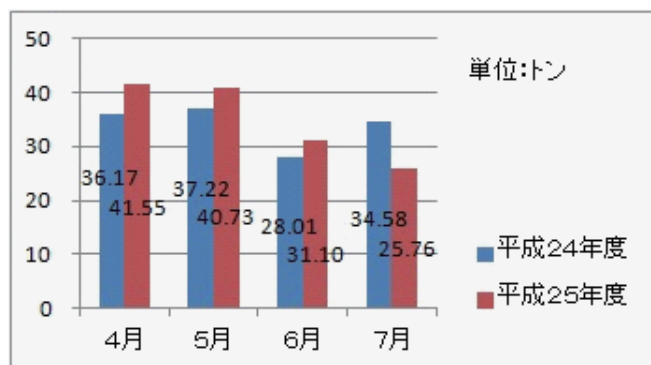
建築資材（石膏ボード）



卵の容器など

大ピンチ！ミックス古紙が減少↓

平成25年4月からのミックス古紙回収量がどんどん減っています。このままでは、ミックス古紙も焼却施設も悲鳴をあげてしまいます。



ごみに関する市民意識調査を実施します

清掃センターでは、ごみの減量・資源化を進めるために、10月から2,000人を対象にごみに関する市民意識調査を実施します。これは、ごみの分別方法や収集方法、ごみ処理の有料化などについて調査し、廃棄物処理対策審議会などで今後のごみ処理について検討するものです。また、結果はごみ減量トレンドやホームページなどで公表します。

